

時間割コード	ドイツ語 I	ナンバリング	KB-GER-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	月2,木4	単位数	2	日英区分	日本語
対象学生	L	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	ドイツ語 I				
担当教員（ローマ字表記）	各授業担当教員				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

ドイツ語 I (1)

授業の概要/Course Overview

ドイツ語をはじめて学ぶみなさんに、ドイツ語の初歩をできるだけわかりやすく説明します。説明がすんだら練習問題に挑戦し、文法事項の確認をおこないます。練習問題は、宿題（レポート）にもなります。この授業は、月2と木4に同一クラスで週2回ずつおこないます。

キーワード/Keyword(s)

ドイツ語、独語、初修外国語、文法、ドイツ。

到達目標/Learning Objectives

①初歩的なドイツ語を理解し、聞き、話すことができるよう、規則・不規則動詞の現在時制など、ドイツ語技能検定試験（略称「独検」）5級で求められる学修内容を修得する。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- (01) 【授業内容】シラバスを用いたガイダンス。
【授業外学修】シラバスを事前に熟読し、教科書を購入、持参すること。
- (02) 【授業内容】文字と発音。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (03) 【授業内容】規則動詞の現在人称変化。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (04) 【授業内容】重要な不規則動詞。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (05) 【授業内容】名詞の性。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (06) 【授業内容】定冠詞と不定冠詞。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (07) 【授業内容】復習と進度の調整。
【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (08) 【授業内容】復習。
【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (09) 【授業内容】複数形。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (10) 【授業内容】不規則動詞の現在人称変化。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (11) 【授業内容】命令形。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(12)【授業内容】定冠詞類と不定冠詞類。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(13)【授業内容】人称代名詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(14)【授業内容】復習と進度の調整。

【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(15)【授業内容】総復習。小テスト（確認テスト）。

【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、練習問題の解答を確認すること。

(16)【授業内容】前置詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(17)【授業内容】従属接続詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(18)【授業内容】話法の助動詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(19)【授業内容】未来形。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(20)【授業内容】分離動詞、再帰動詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(21)【授業内容】形容詞、比較表現。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(22)【授業内容】復習と進度の調整。

【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(23)【授業内容】復習。

【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(24)【授業内容】過去形。

【授業外学修】教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(25)【授業内容】完了形。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(26)【授業内容】zu不定詞、分詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(27)【授業内容】指示代名詞、関係代名詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(28)【授業内容】接続法。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(29)【授業内容】復習と進度の調整。

【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(30)【授業内容】総復習。小テスト（確認テスト）。

【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、練習問題の解答を確認すること。

*第2回から第14回までと、第16回から第29回までは、毎回「双方向型問題演習」として、教科書各課に組み込まれている、①文法事項習得のための平易な練習問題、②読み、書く力をつけるための練習問題、それぞれに取り組んでもらいます。とくに②は宿題（レポート）にもなりますから、授業外学習時間をきちんと確保してください。①、②ともに、解答例と解説を示し、双方向型問題演習としてのフィードバックをおこないます。

*第15回と、第30回は、「振り返り」として、小テスト（確認テスト）を実施します。終了後、教務情報ポータルシステムなどで解答例と解説を確認してください。

*予習・復習のポイントは、以下のとおりです：①かならず声に出して読む。②かならず単語ノートをつくる。③名詞の性、複数形も単語ノートに書き込む。④すべての単語の品詞に留意する。⑤名詞句、副詞句、前置詞句、zu不定詞句など、語句（＝複数の単語からなる1つのかたまり）に留意する。⑥定動詞（＝人称変化形）の位置（＝正置・倒置・後置）をとらえる。⑦定動詞と不定詞を区別する。⑧本動詞と助動詞を区別する。⑨主文か、副文（従属文）か、たんなる挿入句にすぎないか、つねに意識する。⑩教科書付属のCDが、すりきれるまで！くり返し聞き、みずから進んで学ぶ姿勢を身につける。

*ラーニング・コモンズを利用するなどして、履修者同士でさらに話し合いながら復習することができれば申し分ありません。

履修上の注意/Notes

教科書、ノート、辞書はもちろん、宿題やレポートを忘れないこと。遅刻は15分までしか認めません。3回遅刻したら1回欠席扱い。11回休んだら単位は認定されません。この授業は週に2回連動式におこないますので、月曜または木曜の授業だけを単独で履修することはできません。不明な点は人文社会科学部B205ドイツ語取りまとめ役の小泉淳二まで。オフィス・アワー: 月曜と火曜の昼休み。

情報端末の活用

第30回めにアンケートを実施する予定のため、PC、スマートフォンなどを持参すること。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+ : 初歩的なドイツ語を十分に修得し、その構造を十分に理解している。
- A : 初歩的なドイツ語を修得し、その構造を理解している。
- B : 初歩的なドイツ語をおおむね修得し、その構造をおおむね理解している
- C : 初歩的なドイツ語をある程度修得し、その構造をある程度理解している。
- D : 初歩的なドイツ語を修得することができず、その構造を理解していない。

成績の評価方法/Grading

小テスト（確認テスト）60%、宿題（レポート）40%。評価の観点「到達目標」の①への接近度を「小テスト（確認テスト）」の結果および「宿題（レポート）」の記述から評価します。16週めの期末試験は実施しません。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	プロムナード やさしいドイツ語文法（改訂版）
著者名	荻原耕平ほか
出版社	白水社
出版年	2019
ISBN	9784560064245.0
教材費	2400

参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	NHKテレビ 旅するドイツ語
著者名	
出版社	NHK出版
出版年	
ISBN	
教材費	

参考書2

書名	NHKラジオ まいにちドイツ語
著者名	

出版社	NHK出版
出版年	
ISBN	
教材費	

参考書3

書名	ドイツの街角から：素顔のドイツ--その文化・歴史・社会
著者名	高橋憲著
出版社	郁文堂
出版年	2017
ISBN	9784261012651.0
教材費	1300

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	△
課題解決能力	○
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	△
地域活性化志向	△

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	フランス語 I	ナンバリング	KB-FRE-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	月2,木4	単位数	2	日英区分	日本語
対象学生	L	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	フランス語 I				
担当教員（ローマ字表記）	各授業担当教員				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

フランス語I

授業の概要/Course Overview

フランス語の学習経験ゼロの学生を対象に、フランス語によるコミュニケーション能力の基礎をつくります。日常の平易な文章から言葉の仕組みを学び、演習問題をこなすことにより、ごく基本的なフランス語を読み、書き、話し、聞くことができるようになって、実用フランス語技能検定試験（仏検）5級レベルの実践的コミュニケーション能力を身につけます。

キーワード/Keyword(s)

仏検5級、基本的なフランス語、コミュニケーション能力、名詞、形容詞、基本動詞現在形。

到達目標/Learning Objectives

1. 外国語の初修により、英語とは異なる言語の知識を身に付ける。
 2. 英語圏ではない地域の多様な文化を知ることにより、世界を俯瞰的に理解する。
 3. グローバル化が進む地域や職域の人々との協働を可能にするコミュニケーション力を身に付ける。
- ディプロマ・ポリシー：①世界の俯瞰的理解、③課題解決能力・コミュニケーション力。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：シラバスを用いたガイダンスと導入（アルファベなど）
- 第2回：つづり字の読み方と数字1から10
- 第3回：名詞と冠詞の説明と簡単な練習
- 第4回：動詞êtreの説明と簡単な練習
- 第5回：「私は～です」の文型を使って職業を答える会話練習
- 第6回：形容詞の説明と簡単な練習
- 第7回：疑問文と否定文の説明と簡単な練習
- 第8回：さまざまな形容詞を使った練習
- 第9回：「あなたはどこの国の人ですか？」という質問に答える会話練習
- 第10回：まとめ、その一
- 第11回：動詞avoirの説明と簡単な練習
- 第12回：所有形容詞の説明と簡単な練習
- 第13回：動詞avoirと所有形容詞とを組み合わせたさまざまな練習
- 第14回：「この人は誰？」という質問に答える会話練習
- 第15回：「この人はどんな人？」という質問に答える会話練習
- 第16回：第一群規則動詞の説明と簡単な練習
- 第17回：動詞faireの説明と簡単な練習
- 第18回：第一群規則動詞とfaireを使ったさまざまな練習

- 第19回：「～は好き？」の文型を使った会話の練習
第20回：「スマートフォンで何ををするの？」の文型を使った会話の練習
第21回：まとめ、その二
第22回：動詞「行く」と「来る」の説明と簡単な練習
第23回：第二群規則動詞の説明と簡単な練習
第24回：動詞「行く」と「来る」を使ったさまざまな練習
第25回：国名を含め、「～から来て、～へ行く」の文型を使った会話の練習
第26回：近接未来と近接過去の説明と簡単な練習
第27回：動詞partirとprendreの説明と簡単な練習
第28回：近接未来と近接過去を使ったさまざまな練習
第29回：「お昼にコーヒー、飲むの？」を使った会話の練習
第30回：総まとめ

【授業外学修】

一回90分の授業をきちんと理解するには、120分の自宅学習が必要です。そのためには、

- (1)まずは、指示された課題等を予習として必ず行ってください。予習には辞書あるいは電子辞書を必ず使い、分からない単語を調べましょう。どの訳語がいいか分からないなど、理解できない箇所は赤ペンでチェックし、次の授業中に教員に質問するなどして、分からない部分を放置しないよう努めましょう。
- (2)ほぼ毎回の授業で「双方向型問題演習」として、教科書各課に組み込まれている平易な練習問題や、教員オリジナルの練習問題に取り組んでもらいますので、復習として本文や例文を何度も繰り返し、声を出して文章を読んで、基本文を暗記するようにしましょう。
- (3)また、書き取り（聞いただけでフランス語が書けるかどうか）の練習も積み重ねてください。特に動詞の活用は何度も練習して、必ず暗記（書いて、言えるように）してください。その他、基本表現を含む短文をいくつも暗記することも有効です。
- (4)さらにフランス語力をつけたい人は各種参考書（後述）を読み、練習問題を行ってください。実用フランス語技能検定試験5級の問題集（茨城大学付属図書館にあります）に挑戦してみるのもお勧めです

【アクティブラーニング】

第2回から第9回、第11回から第20回、第22回から第29回までは、毎回「双方向型問題演習」として、教科書各課に組み込まれている平易な練習問題や、教員オリジナルの練習問題に取り組んでもらいます。これらはいずれも解答例と解説を示し、双方向型問題演習としてのフィードバックを行います。

第5回、第9回、第14回、第15回、第19回、第25回、第29回に行われる会話練習とは「ロール・プレイング」です。

履修上の注意/Notes

この科目は週2回の授業です。遅刻は厳禁。早めに教室に入るようにしましょう。

情報端末の活用

全員一律での利用は特に予定していません。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：基礎的なフランス語を十分に修得し、その構造を十分に理解している。
- A：基礎的なフランス語を修得し、その構造を理解している。
- B：基礎的なフランス語をおおむね修得し、その構造をおおむね理解している。
- C：基礎的なフランス語について最低限の修得をしており、その構造をある程度理解している。
- D：基礎的なフランス語を修得することができず、その構造を理解していない。

成績の評価方法/Grading

学期中に数回行われる確認テスト（合計100%）で成績評価します。いわゆる期末試験（16週目に実施）は行いません。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	バンド・デシネでフランス語。
著者名	神田大吾・藤原貞朗・猪俣紀子
出版社	
出版年	
ISBN	
教材費	2200

参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	『コレクションフランス語』1. 入門
著者名	蘇我佑典ほか
出版社	白水社
出版年	
ISBN	
教材費	2300

参考書2

書名	『コレクションフランス語』3. 文法
著者名	蘇我佑典ほか
出版社	白水社
出版年	
ISBN	
教材費	2300

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	<input checked="" type="radio"/>
専門分野の学力	<input type="radio"/>
課題解決能力	<input checked="" type="radio"/>
コミュニケーション力	<input checked="" type="radio"/>
実践的英語力	<input type="radio"/>
社会人としての姿勢	<input type="radio"/>
地域活性化志向	<input type="radio"/>

アクティブ・ラーニング型科目

<input type="radio"/>

PBL科目

--

地域志向科目

--

使用言語

--

実務経験のある教員による授業科目

--

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等
--------	--	-------

時間割コード	中国語 I	ナンバリング	KB-CHI-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	月2,木4	単位数	2	日英区分	日本語
対象学生	L	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	中国語 I				
担当教員（ローマ字表記）	各授業担当教員				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

中国語 I

授業の概要/Course Overview

<p>中国語入門～初級のクラス。 月曜及び木曜に行う。 中国語の基礎となる発音、および初級文法を学ぶ。発音の練習、あいさつなど会話の練習、単語や文法の学習を進める。 ことばの背景にある中国の文化や社会事情についても適宜紹介し、関心を深めながら、実践的な語学力を身につける。</p>

キーワード/Keyword(s)

初級中国語、発音、会話力、基礎文法、あいさつことば、コミュニケーション能力、中国文化、中国事情

到達目標/Learning Objectives

正確な中国語の発音を身につけるとともに、文法の基礎を理解し、あいさつや自己紹介などの会話、短い作文などができるようになる。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

<p>*本授業は、テキスト1課分を2コマに分けて行い、合計30コマ分を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスを用いたガイダンス 2. 発音 1 3. 発音 2 4. 発音 3 5. 発音 4 6. レベル確認テスト I（発音編） 7. 第1課 自己紹介（第1課以降は、各課につき、新出単語→ポイント→本文→練習問題の順に月・木2回実施） 8. 第2課 一緒に映画を観ようよ 9. 第3課 キャンパス案内 10. レベル確認テスト II（第1課～第3課）と解説・復習 11. 第4課 ペットも家族の一員 12. 第5課 誕生日のお祝い 13. 第6課 遠距離通学 14. レベル確認テスト III（第1課～第6課までを範囲とし、ヒアリングテスト、文法テストをそれぞれ実施） 15. テスト解説と全体の復習 <p>【授業外学修】</p> <p>(1)語学の習得には予習・復習が不可欠です。 1回90分の授業の理解には120分の自宅学習が必要だといわれています。</p>

まずは、指示された宿題を予習として必ず行ってください。予習には辞書、電子辞書を必ず使い、分からない単語を調べてください。理解できない箇所は赤ペンでチェックし、授業中に教員に質問するなどして、分からない部分を放置しないよう努めましょう。

授業後は、復習として、教科書に付属しているCDを利用し、何度も繰り返し聞いて、聞き取りと書き取りの練習を積み重ねてください。自宅学習では、必ず、大きく口を開き、声を出して文章を読みましょう。基本表現やイディオムを含む短文をいくつも暗記することも有効です。

(2)中国語の力をつけたい人は、中国語検定試験（4級・準4級）（最新の問題集は茨城大学図書館に所蔵）に挑戦してみるのもお勧めです。

(3)1日に1度は必ず中国語に触れるという日々の習慣を身につけることも重要です。日頃から中国語の情報をラジオ、テレビ、インターネットなどで見たり聞いたりして、中国および中国語に慣れ親しんでおきましょう。

【アクティブ・ラーニング】

(1)第2回～第5回、第7回～第9回、第11回～第13回の内容について、統一テキストを使用して、まず教員による講義を行う。それを踏まえて、教授された事を受講者が実践できるよう、受講者はペアに分れて、ロールプレイングシミュレーションおよび口頭発表を毎回行う。

(2)第6回、第10回、第14回、第15回については、到達度を測るテストを実施する。それにより学期中に教員が教授した事が受講者に定着したのかを明らかにする。記述テストの場合は採点の上次の授業で返却、解説を行い、その都度復習を行う。

履修上の注意/Notes

- ・授業2回で1課のペースで進める。上記のレベル確認テストⅠ、Ⅱ、Ⅲの詳細などは、授業時に担当教員から指示する。
- ・遅刻、欠席は厳禁。不明な点は、まず担当教員に直接尋ねること。

情報端末の活用

無し

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 90点以上100点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A : 80点以上90点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B : 70点以上80点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C : 60点以上70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D : 60点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

成績の評価方法/Grading

レベル確認テストⅠ：20点、Ⅱ：40点、Ⅲ：40点
期末試験期間中の16回目に試験は行わない。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	初級中国語 この1冊：4技能の習得を目指して
著者名	丸尾誠・勝川裕子・李軼倫
出版社	金星堂
出版年	2019

ISBN	9784764707108.0
教材費	2200

参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	中日辞典 第3版
著者名	北京・商務印書館, 小学館 共同編集
出版社	小学館
出版年	2016
ISBN	9784095156040.0
教材費	7500

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	○
課題解決能力	○
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	△

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	朝鮮語 I	ナンバリング	KB-KOR-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	月2,木4	単位数	2	日英区分	日本語
対象学生	L	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	朝鮮語 I				
担当教員（ローマ字表記）	李 文鎬				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

朝鮮語 I

授業の概要/Course Overview

最初に韓国・朝鮮語の文字と発音を学びます。主に話す・聞く・書く・読むことを繰り返し練習することにより、基礎的な能力を身につけます。さらに理解を深めるために、歌や映画を視聴することにより、朝鮮半島の社会・文化・歴史にも触れます。

キーワード/Keyword(s)

韓国語、朝鮮語、文字と発音、基礎的な文法、基礎的な会話、簡単な文章の読解、朝鮮半島の文化。

到達目標/Learning Objectives

- 1.韓国語・朝鮮語の文字と発音を修得できる。
 - 2.韓国語・朝鮮語の文法を修得できる。
 - 3.簡単な文章の読解や作文ができる。
 - 4.朝鮮半島の文化に対する理解を深めることができる。
- ディプロマ・ポリシー：①世界の俯瞰的理解、③課題解決能力・コミュニケーション力。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：ガイダンス及び文字と発音の概略の説明
 第2回：文字と発音(1) 母音 I
 第3回：文字と発音(1) 母音 II
 第4回：文字と発音(2) 子音 I
 第5回：文字と発音(2) 子音 II
 第6回：文字と発音(2) 子音 III
 第7回：文字と発音(3) 終声(バッチム)
 第8回：文字と発音(3) 連音化
 第9回：文字と発音：総合練習
 第10回：指定詞：～です/～ですか
 第11回：助詞(1) ～は
 第12回：指示詞：この/その/あの
 第13回：存在詞：います/あります
 第14回：助詞(2) ～が/～に/～も
 第15回：第一回確認テスト
 第16回：文化理解I
 第17回：用言文：～ます/～ますか
 第18回：助詞(3) ～を/～で;から

- 第19回：数詞(1) 漢語系数詞
- 第20回：数詞(1) 漢語系数詞とともに使う助数詞
- 第21回：否定形(1) 用言文の否定形：～ない
- 第22回：否定形(2) 名詞文の否定形：～ではない
- 第23回：文化理解II
- 第24回：数詞(2) 固有語系数詞
- 第25回：数詞(2) 固有語系数詞とともに使う助数詞
- 第26回：尊敬形：～れる/～られる
- 第27回：特殊な尊敬形
- 第28回：助詞(4) ～から/～まで
- 第29回：文化理解III
- 第30回：第二回確認テスト

【授業外学修】

- (1) ハングル文字の読み・書き練習を繰り返し、音と形の両方から覚えるようにします。CDを使った聞く練習も有効でしょう。
- (2) 毎回の授業の後、単語や表現を繰り返し練習して覚えることが大切です。
- (3) 平素から K-POP やドラマなど韓国文化に興味を持ち、韓国・朝鮮語に自然に接するようにしましょう。

【アクティブラーニング】

- (1) 「双方向型問題演習」として、読み、書き、聞く力をつけるための小テストに取り組んでもらいます。採点した結果を返却して解説を行い、双方向型問題演習としてのフィードバックを行います。
- (2) 文法講義の後「双方向型問題演習」として、表現練習問題と作文練習の作成を行います。答えはチェックを入れ返却し間違ったところを直してもらいます。
- (3) 会話練習では実際の会話能力を身につけるために学生同士の「ロールプレイ」を実施します。二人でペアを組み自然に言えるように練習します。
- (4) 第16回・23回・29回目の授業では映像を使って朝鮮半島の文化と歴史に触れます。
- (5) 第15回と第30回では「振り返り」として確認テストを実施します。

履修上の注意/Notes

この授業は教員による講義のほか、学生同士のグループワークや映像を使った学習などを含んでいるので、授業に積極的に参加する態度が重要です。

情報端末の活用

全員一律での利用は特に予定していません。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：基礎的な朝鮮語を十分に修得し、その構造を十分に理解している。
- A：基礎的な朝鮮語を修得し、その構造を理解している。
- B：基礎的な朝鮮語をおおむね修得し、その構造をおおむね理解している。
- C：基礎的な朝鮮語について最低限の修得をしており、その構造をある程度理解している。
- D：基礎的な朝鮮語を修得することができておらず、その構造を理解していない。

成績の評価方法/Grading

確認テスト：50%、小テスト：30%、平常点：20%。16回目の期末試験はありません。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	ことばの架け橋：韓国朝鮮語初級テキスト
著者名	生越直樹, 曹喜澈著
出版社	白帝社
出版年	2011
ISBN	4863980515.0
教材費	

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7501	ナンバリング	KB-SPA-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	月2,木4	単位数	2	日英区分	日本語
対象学生	L	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	スペイン語 I				
担当教員（ローマ字表記）	福田 大治				
シラバス用備考	【前期】				

授業題目/Title

スペイン語I

授業の概要/Course Overview

<p>スペイン語の入門クラス。スペイン語は英語、中国語などに次いで話者数の多い言語であり、その数は少なく見積もっても4億人に及ぶと言われている。習得した者にはそれだけの世界が広がるということ。ヨーロッパ、南北アメリカ大陸に興味を持つ学生の受講を歓迎する。</p>

キーワード/Keyword(s)

<p>スペイン語、スペイン、スペイン語圏アメリカ（いわゆるラテンアメリカ・カリブ諸国、近年ではアメリカ合衆国も含む）、動詞ser、動詞estar、規則活用動詞。</p>
--

到達目標/Learning Objectives

<p>1. 外国語の初修により、英語とは異なる言語の知識を身に付ける。 2. 英語圏ではない地域の多様な文化を知ることにより、世界を俯瞰的に理解する。 3. グローバル化が進む地域や職域の人々との協働を可能にするコミュニケーション力を身に付ける。 ディプロマ・ポリシー：①世界の俯瞰的理解、③課題解決能力・コミュニケーション力</p>
--

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

<p>第1回：シラバスによるガイダンスとイントロダクション：スペイン語およびスペイン語諸国について 第2回：スペイン語のアルファベット、発音 第3回：アクセントの法則、簡単なあいさつ 第4回：名詞と形容詞の特徴と使い方 第5回：主語になる人称代名詞 第6回：動詞serの現在形活用 第7回：動詞serを使った日常表現 第8回：動詞serを使った出身地・出自表現 第9回：動詞estarの現在形活用 第10回：動詞estarを使った場所表現 第11回：動詞estarを使った日常表現 第12回：動詞serとestarの相違 第13回：3人称活用のみの特異動詞haber（～がある、いる） 第14回：定冠詞と不定冠詞、基数（0～10） 第15回：規則活用動詞(-ar)の用法 第16回：規則活用動詞(-er)の用法 第17回：規則活用動詞(-ir)の用法 第18回：規則活用動詞を使った日常表現</p>
--

- 第19回：tener（持つ）の現在形活用
- 第20回：ir（行く）とvenir（来る）の現在形活用
- 第21回：曜日・時刻表現、時間連のボキャブラリー
- 第22回：基数（11～100）と年齢表現
- 第23回：動詞querer（～がほしい、～したい）
- 第24回：動詞poderとsaber（～できる）の使い分け
- 第25回：動詞conocerとsaber（知っている）の使い分け
- 第26回：直接目的語になる代名詞（～を）
- 第27回：間接目的語になる代名詞（～に）
- 第28回：gustar型動詞（～にとって好ましい＝～が好きである）
- 第29回：gustar型動詞を使った日常表現
- 第30回：前学期のまとめ

【授業外学修】

(1)第2回から第29回まで毎回、教科書各課に組み込まれている平易な練習問題や、教員オリジナルの練習問題に取り組んでもらいます。一部は宿題（ミニ・レポート）にもなりますから、辞書を使った予習・復習を行うことが大切です。英語とは辞書の引き方が異なるため、授業内に適宜辞書の使い方を解説します。

(2)ラジオ・テレビ教材、問題集を通じた語学の習得方法、生きたスペイン語に接するための映画・音楽・ニュース媒体等を授業で紹介します。語学の背景であるスペイン語圏の文化にも積極的に触れてください。

【アクティブラーニング】

第2回から第29回まで、毎回「双方向型問題演習」を行います。

履修上の注意/Notes

新しく学ぶ外国語であるからには、毎回の出席が義務付けられる。やむをえず欠席の際には、その回の内容について必ず教科書等で自習しておくこと。また、不明な事項があれば授業内または授業後に質問の上で、次回までに疑問点を残さないこと。

情報端末の活用

全員一律での活用は予定していない。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：基礎的なスペイン語を十分に修得し、その構造を十分に理解している。
- A：基礎的なスペイン語を修得し、その構造を理解している。
- B：基礎的なスペイン語をおおむね修得し、その構造をおおむね理解している。
- C：基礎的なスペイン語について最低限の修得をしており、その構造をある程度理解している。
- D：基礎的なスペイン語を修得することができず、その構造を理解していない。

成績の評価方法/Grading

授業内での課題演習（合計50%）と項目ごとの小テスト（合計50%）とを合わせて総合的に評価する。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	動く!スペイン語
著者名	福嶋教隆 著
出版社	朝日出版社

出版年	2008
ISBN	4255550239.0
教材費	2600

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	<input checked="" type="radio"/>
専門分野の学力	<input type="radio"/>
課題解決能力	<input checked="" type="radio"/>
コミュニケーション力	<input checked="" type="radio"/>
実践的英語力	<input type="radio"/>
社会人としての姿勢	<input type="radio"/>
地域活性化志向	<input type="radio"/>

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7151	ナンバリング	KB-GER-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	月2,木4	単位数	2	日英区分	日本語
対象学生	L	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	ドイツ語Ⅱ				
担当教員（ローマ字表記）	小泉 淳二, 市川 宏子				
シラバス用備考	【後期】				

授業題目/Title

ドイツ語Ⅱ（1）

授業の概要/Course Overview

前学期のドイツ語Ⅰに引きつづき、ドイツ語をはじめて学ぶみなさんに、ドイツ語の基礎をできるだけわかりやすく説明します。説明がすんだら練習問題と会話テキストに挑戦し、文法事項の確認ならびに表現練習をおこないます。練習問題は、宿題（レポート）にもなります。この授業は、月2と木4に同一クラスで週2回ずつおこないます。

キーワード/Keyword(s)

ドイツ語、独語、初修外国語、文法、ドイツ。

到達目標/Learning Objectives

①基礎的なドイツ語を理解し、平易なドイツ語を聞き、話し、読み、書くことができるよう、動詞の過去時制や未来時制など、ドイツ語技能検定試験（略称「独検」）4級で求められる学修内容を修得する。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- (01)【授業内容】シラバスを用いたガイダンス。
【授業外学修】シラバスを事前に熟読し、教科書を購入、持参すること。
- (02)【授業内容】文字と発音。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (03)【授業内容】規則動詞の現在人称変化。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (04)【授業内容】重要な不規則動詞。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (05)【授業内容】名詞の性。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (06)【授業内容】定冠詞と不定冠詞。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (07)【授業内容】復習と進度の調整。
【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (08)【授業内容】復習。
【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (09)【授業内容】複数形。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。
- (10)【授業内容】不規則動詞の現在人称変化。
【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(11)【授業内容】命令形。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(12)【授業内容】定冠詞類と不定冠詞類。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(13)【授業内容】人称代名詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(14)【授業内容】復習と進度の調整。

【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(15)【授業内容】総復習。小テスト（確認テスト）。

【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、練習問題の解答を確認すること。

(16)【授業内容】前置詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(17)【授業内容】従属接続詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(18)【授業内容】語法の助動詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(19)【授業内容】未来形。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(20)【授業内容】分離動詞、再帰動詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(21)【授業内容】形容詞、比較表現。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(22)【授業内容】復習と進度の調整。

【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(23)【授業内容】復習。

【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(24)【授業内容】過去形。

【授業外学修】教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(25)【授業内容】完了形。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(26)【授業内容】zu不定詞、分詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(27)【授業内容】指示代名詞、関係代名詞。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(28)【授業内容】接続法。

【授業外学修】教室で指示された教科書の該当頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(29)【授業内容】復習と進度の調整。

【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、教科書付属のCDを繰り返し聞くこと。

(30)【授業内容】総復習。小テスト（確認テスト）。

【授業外学修】教科書のこれまでの全頁を熟読し、練習問題の解答を確認すること。

*第2回から第14回までと、第16回から第29回までは、毎回「双方向型問題演習」として、教科書各課に組み込まれている、①文法事項習得のための平易な練習問題、②読み、書く力をつけるための練習問題、それぞれに取り組んでもらいます。とくに②は宿題（レポート）にもなりますから、授業外学習時間をきちんと確保してください。①、②ともに、解答例と解説を示し、双方向型問題演習としてのフィードバックをおこないます。

*第15回と、第30回は、「振り返り」として、小テスト（確認テスト）を実施します。終了後、教務情報ポータルシステムなどで解答例と解説を確認してください。

*予習・復習のポイントは、以下のとおりです：①かならず声に出して読む。②かならず単語ノートをつくる。③名詞の性、複数形も単語ノートに書き込む。④すべての単語の品詞に留意する。⑤名詞句、副詞句、前置詞句、zu不定詞句など、語句（＝複数の単語からなる1つのかたまり）に留意する。⑥定動詞（＝人称変化形）の位置（＝正置・倒置・後置）をとらえる。⑦定動詞と不定詞を区別する。⑧本動詞と助動詞を区別する。⑨主文か、副文（従属文）か、たんなる挿入句にすぎないか、つねに意識する。⑩教科書付属のCDが、すりきれるまで！くり返し聞き、みずから進んで学ぶ姿勢を身につける。

*ラーニング・コモンズを利用するなどして、履修者同士でさらに話し合いながら復習することができれば申し分ありません。

履修上の注意/Notes

教科書、ノート、辞書はもちろん、宿題やレポートを忘れないこと。遅刻は15分までしか認めません。3回遅刻したら1回欠席扱い。11回休んだら単位は認定されません。この授業は週に2回連動式におこないますので、月曜または木曜の授業だけを単独で履修することはできません。不明な点は人文社会科学部B205ドイツ語取りまとめ役の小泉淳二まで。オフィス・アワー: 月曜と火曜の昼休み。

情報端末の活用

第30回めにアンケートを実施する予定のため、PC、スマートフォンなどを持参すること。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+ : 基礎的なドイツ語を十分に修得し、その構造を十分に理解している。
- A : 基礎的なドイツ語を修得し、その構造を理解している。
- B : 基礎的なドイツ語をおおむね修得し、その構造をおおむね理解している
- C : 基礎的なドイツ語をある程度修得し、その構造をある程度理解している。
- D : 基礎的なドイツ語を修得することができず、その構造を理解していない。

成績の評価方法/Grading

小テスト（確認テスト）60%、宿題（レポート）40%。評価の観点「到達目標」の①への接近度を「小テスト（確認テスト）」の結果および「宿題（レポート）」の記述から評価します。16週めの期末試験は実施しません。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	身につくドイツ語・初級〈改訂新版〉
著者名	前田良三ほか
出版社	郁文堂
出版年	2015
ISBN	9784261012590.0
教材費	2500

参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	ブロムナード やさしいドイツ語文法（改訂版）
著者名	荻原耕平ほか
出版社	白水社
出版年	2019
ISBN	9784560064245.0
教材費	2400

参考書2

書名	NHKテレビ 旅するドイツ語
著者名	

出版社	NHK出版
出版年	
ISBN	
教材費	

参考書3

書名	NHKラジオ まいにちドイツ語
著者名	
出版社	NHK出版
出版年	
ISBN	
教材費	

参考書4

書名	《最新版》ドイツの街角から ～=素顔のドイツ その文化・歴史・社会～
著者名	高橋憲
出版社	郁文堂
出版年	2017
ISBN	9784261012651.0
教材費	1300

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	△
課題解決能力	○
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	△
地域活性化志向	△

アクティブ・ラーニング型科目

○

PBL科目

--

地域志向科目

--

使用言語

その他

実務経験のある教員による授業科目

--

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7251	ナンバリング	KB-FRE-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	月2,木4	単位数	2	日英区分	日本語
対象学生	L	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	フランス語Ⅱ				
担当教員（ローマ字表記）	藤原 貞朗				
シラバス用備考	【後期】				

授業題目/Title

フランス語Ⅱ

授業の概要/Course Overview

50時間程度のフランス語の学習経験がある学生を対象に、フランス語による実践的なコミュニケーション能力の基礎を固めます。基礎的な文章から言葉の仕組みを学び、練習問題をこなすことによって、基礎的なフランス語を読み、書き、話し、聞くことができるようになります。

キーワード/Keyword(s)

仏検4級、基礎的なフランス語、実践的コミュニケーション能力、半過去、単純未来、条件法、接続法。

到達目標/Learning Objectives

1. 外国語の初修により、英語とは異なる言語の知識を身に付ける。
 2. 英語圏ではない地域の多様な文化を知ることにより、世界を俯瞰的に理解する。
 3. グローバル化が進む地域や職域の人々との協働を可能にするコミュニケーション力を身に付ける。
- ディプロマ・ポリシー：①世界の俯瞰的理解、③課題解決能力・コミュニケーション力。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回：シラバスによるガイダンスと、「フランス語Ⅰ」の学習事項の復習。

第2回：比較級の説明と簡単な練習

第3回：最上級の説明と簡単な練習

第4回：動詞connaîtreとsavoirの説明と簡単な練習

第5回：比較級と最上級を使ったさまざまな会話練習

第6回：直接・間接目的語人称代名詞の説明と簡単な練習

第7回：動詞vouloirとpouvoirの説明と簡単な練習

第8回：目的語人称代名詞を使ったいろいろな練習

第9回：まとめ、その一

第10回：代名動詞の説明と簡単な練習

第11回：疑問代名詞quiとqueの説明と簡単な練習

第12回：非人称構文の説明と簡単な練習

第13回：代名動詞を使ったさまざまな練習

第14回：「何をしているの？」という質問に答える会話練習

第15回：複合過去の説明と簡単な練習

第16回：代名動詞の複合過去の説明と簡単な練習

第17回：複合過去を使ったさまざまな練習

第18回：複合過去を使った発展練習

- 第19回：「昨日は何をしましたか？」の質問に答える会話練習
第20回：まとめ、その二
第21回：半過去と大過去の説明と簡単な練習
第22回：半過去と複合過去とを使い分ける簡単な練習
第22回：半過去と大過去と複合過去とを使うさまざまな練習
第23回：「小さい頃、どんな子供だったの？」という質問に答える会話練習
第24回：単純未来の説明と簡単な練習
第25回：非人称構文(2)の説明
第26回：単純未来を使ったさまざまな練習
第27回：関係代名詞の説明と簡単な練習
第28回：条件法の説明と簡単な練習
第29回：接続法の説明と簡単な練習
第30回：総まとめ

授業外学修】

一回90分の授業をきちんと理解するには、120分の自宅学習が必要です。そのためには、

- (1)まずは、指示された課題等を予習として必ず行ってください。予習には辞書あるいは電子辞書を必ず使い、分からない単語を調べましょう。どの訳語がいいか分からないなど、理解できない箇所は赤ペンでチェックし、次の授業中に教員に質問するなどして、分からない部分を放置しないよう努めましょう。
- (2)ほぼ毎回の授業で「双方向型問題演習」として、教科書各課に組み込まれている平易な練習問題や、教員オリジナルの練習問題に取り組んでもらいますので、復習として本文や例文を何度も繰り返し、声を出して文章を読んで、基本文を暗記するようにしましょう。
- (3)また、書き取り（聞いただけでフランス語が書けるかどうか）の練習も積み重ねてください。特に動詞の活用は何度も練習して、必ず暗記（書いて、言えるように）してください。その他、基本表現を含む短文をいくつも暗記することも有効です。
- (4)さらにフランス語力をつけたい人は各種参考書（後述）を読み、練習問題を行ってください。実用フランス語技能検定試験5級の問題集（茨城大学付属図書館にあります）に挑戦してみるのもお勧めです

【アクティブラーニング】

第2回から第8回、第10回から第19回、第21回から第29回までは、毎回「双方向型問題演習」として、教科書各課に組み込まれている平易な練習問題や、教員オリジナルの練習問題に取り組んでもらいます。これらはいずれも解答例と解説を示し、双方向型問題演習としてのフィードバックを行います。

第5回、第14回、第19回、第23回に行われる会話練習とは「ロール・プレイング」です。

履修上の注意/Notes

この科目は週2回の授業です。遅刻は厳禁。早めに教室に入るようにしましょう。

情報端末の活用

全員一律での利用は特に予定していません。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：平易なフランス語を十分に修得し、その構造を十分に理解している。
A：平易なフランス語を修得し、その構造を理解している。
B：平易なフランス語をおおむね修得し、その構造をおおむね理解している。
C：平易なフランス語について最低限の修得をしており、その構造をある程度理解している。
D：平易なフランス語を修得することができておらず、その構造を理解していない。

成績の評価方法/Grading

学期中に数回行われる確認テスト（合計100％）で成績評価します。いわゆる期末試験（16週目に実施）は行いません。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	バンド・デシネでフランス語。
著者名	神田大吾・藤原貞朗・猪俣紀子
出版社	
出版年	
ISBN	
教材費	2200

参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	『コレクションフランス語』2. 初級
著者名	蘇我佑典ほか
出版社	白水社
出版年	
ISBN	
教材費	2300

参考書2

書名	『コレクションフランス語』3. 文法
著者名	蘇我佑典ほか
出版社	白水社
出版年	
ISBN	
教材費	2300

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

○

PBL科目

--

地域志向科目

--

使用言語

--

実務経験のある教員による授業科目

--

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等
--------	--	-------

時間割コード	中国語II	ナンバリング	KB-CHI-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	月2,木4	単位数	2	日英区分	日本語
対象学生	L	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	中国語Ⅱ				
担当教員（ローマ字表記）	各授業担当教員				
シラバス用備考	【後期】				

授業題目/Title

中国語Ⅱ

授業の概要/Course Overview

中国語入門～初級のクラス。

月曜及び木曜に行う。

中国語の基礎となる発音の復習、および初級文法を前学期に続いて学ぶ。初級会話の練習、単語や文法の学習を進める。

ことばの背景にある中国の文化や社会事情についても適宜紹介し、関心を深めながら、実践的な語学力を身につける。

キーワード/Keyword(s)

初級中国語、初級会話、基礎文法、コミュニケーション能力、中国文化、中国事情

到達目標/Learning Objectives

前学期に引き続き、初級文法を理解し、初級会話や簡単な翻訳などができるようになる。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

*本授業は、テキスト1課分を2コマに分けて行い、合計30コマ分を実施する。

1. シラバスを用いたガイダンス
2. 「語句小テスト」を使った前学期の復習（1）
3. 「語句小テスト」を使った前学期の復習（2）
4. 「語句小テスト」を使ったレベル確認テストⅠ（第1課～第6課）
5. 第7課 北京のベストシーズンは（第7課以降は、前学期と同じく各課につき、新出単語→ポイント→本文→練習問題の順に月・木2回実施）
6. 第8課 中国語の勉強
7. 第9課 リスニングは難しい
8. 第10課 サークル活動
9. レベル確認テストⅡ（第7課～第10課）
10. 第11課 携帯電話
11. 第12課 財布の紛失
12. 第13課 春節に故郷を思う
13. 「語句小テスト」を使った第7課から第13課の復習
14. レベル確認テストⅢ（第7課～第13課までを範囲とし、ヒアリングテスト、文法テストをそれぞれ実施）
15. テスト解説と全体の復習

【授業外学修】

(1) 語学の習得には予習・復習が不可欠です。

1回90分の授業の理解には120分の自宅学習が必要だといわれています。

まずは、指示された宿題を予習として必ず行ってください。予習には辞書、電子辞書を必ず使い、分からない単語を調べてください。理解できない箇所は赤ペンでチェックし、授業中に教員に質問するなどして、分からない部分を放置しないよう努めましょう。

授業後は、復習として、教科書に付属しているCDを利用し、何度も繰り返し聞いて、聞き取りと書き取りの練習を積み重ねてください。自宅学習では、必ず、大きく口を開き、声を出して文章を読みましょう。基本表現やイディオムを含む短文をいくつも暗記することも有効です。

(2)中国語の力をつけたい人は、中国語検定試験（4級・準4級）（最新の問題集は茨城大学図書館に所蔵）に挑戦してみるのもお勧めです。

(3)1日に1度は必ず中国語に触れるという日々の習慣を身につけることも重要です。日頃から中国語の情報をラジオ、テレビ、インターネットなどで見たり聞いたりして、中国および中国語に慣れ親しんでおきましょう。

【アクティブ・ラーニング】

(1)第2回、第3回、第5回～第8回、第10回～第13回の内容について、統一テキストを使用して、まず教員による講義を行う。それを踏まえて、教授された事を受講者が実践できるよう、受講者はペアに分れて、ロールプレイングシミュレーションおよび口頭発表を毎回行う。

(2)第4回、第9回、第14回、第15回については、到達度を測るテストを実施する。それにより学期中に教員が教授した事が受講者に定着したのかを明らかにする。ペーパーテストの場合、採点の上次の授業で返却、解説を行い、その都度復習を行う。

履修上の注意/Notes

- ・ 授業2回で1課のペースで進める。上記のレベル確認テストⅠ、Ⅱ、Ⅲの詳細などは、授業時に担当教員から指示する。
- ・ 遅刻、欠席は厳禁。不明な点は、まず担当教員に直接尋ねること。

情報端末の活用

無し

成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 90点以上100点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A : 80点以上90点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B : 70点以上80点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C : 60点以上70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D : 60点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

成績の評価方法/Grading

レベル確認テストⅠ：20点、Ⅱ：40点、Ⅲ：40点
期末試験期間中の16回目に試験は行わない。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	初級中国語 この1冊：4技能の習得を目指して
著者名	丸尾誠・勝川裕子・李軼倫
出版社	金星堂
出版年	2019

ISBN	9784764707108.0
教材費	2200

参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	中日辞典 第3版
著者名	北京・商務印書館, 小学館 共同編集
出版社	小学館
出版年	2016
ISBN	9784095156040.0
教材費	7500

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	○
課題解決能力	○
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	△

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7451	ナンバリング	KB-KOR-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	月2,木4	単位数	2	日英区分	日本語
対象学生	L	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	朝鮮語Ⅱ				
担当教員（ローマ字表記）	李 文鎬				
シラバス用備考	【後期】				

授業題目/Title

朝鮮語Ⅱ

授業の概要/Course Overview

初級レベルの韓国・朝鮮語を学習します。朝鮮語Ⅰで学んだ基礎的な知識に加え、より広い範囲の表現を可能にする文法や語彙を学習します。さらに実践的なコミュニケーションスキルを身につけるためにアクティブ・ラーニングに基づいた多様な活動を行います。

キーワード/Keyword(s)

韓国・朝鮮語、アクティブ・ラーニング、文法・語彙、コミュニケーションスキル、朝鮮半島の文化・社会・歴史、検定試験初級。

到達目標/Learning Objectives

1. 韓国・朝鮮語の理解をより確実なものとするができる。
 2. 韓国・朝鮮語のコミュニケーション能力をより確実なものとするができる。
 3. 朝鮮半島の文化・社会・歴史への理解をさらに深めることができる。
 4. 検定試験初級程度の能力を身につけることができる。
- ディプロマ・ポリシー：①世界の俯瞰的理解、③課題解決能力・コミュニケーション力。

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：ガイダンス及び前期「Ⅰ」の復習
 第2回：第9課【連用形】用言の連用形
 第3回：第9課【連用形】連用形の縮約形
 第4回：第9課【連用形】表現練習と作文練習
 第5回：第10課【□□体】用言文と名詞文の「□□」体
 第6回：第10課【□□体】否定形（2）と助詞（5）
 第7回：第10課【□□体】表現練習と作文練習
 第8回：第11課【□□体の尊敬形】「□□」体の尊敬形
 第9回：第11課【□□体の尊敬形】助詞（6）
 第10回：第11課【□□体の尊敬形】表現練習と作文練習
 第11回：総合練習（2）
 第12回：第一回確認テスト
 第13回：韓国・朝鮮文化の理解（1）
 第14回：第12課【過去形】用言文と尊敬の過去形
 第15回：第12課【過去形】助詞（7）
 第16回：第12課【過去形】表現練習と作文練習
 第17回：第13課【連体形1】現在・過去連体形
 第18回：第13課【連体形1】未来・回想連体形

- 第19回：第13課【連体形1】身体名称
- 第20回：第13課【連体形1】表現練習と作文練習
- 第21回：第14課【連体形2】現在・過去・未来連体形
- 第22回：第14課【連体形2】未来意志形
- 第23回：第14課【連体形2】表現練習と作文練習
- 第24回：第15課【口語幹】口語幹
- 第25回：第15課【口語幹】原因・動作の先行
- 第26回：第15課【口語幹】不可能表現
- 第27回：第15課【口語幹】表現練習と作文練習
- 第28回：総合練習（3）
- 第29回：韓国・朝鮮文化の理解（2）
- 第30回：第二回確認テスト

【授業外学修】

- (1)ハングル文字の読み・書き練習を繰り返し、音と形の両方から覚えるようにします。CDを使った聞く練習も有効でしょう。
- (2)毎回の授業の後、単語や表現を繰り返し練習して覚えることが大切です。
- (3)平素からK-POPやドラマなど韓国文化に興味を持ち、韓国・朝鮮語に自然に接するようにしましょう。

【アクティブラーニング】

- (1)「双方向型問題演習」として、読み、書き、聞く力をつけるための小テストに取り組んでもらいます。採点した結果を返却して解説を行い、双方向型問題演習としてのフィードバックを行います。
- (2)文法講義の後「双方向型問題演習」として、表現練習問題と作文練習の作成を行います。答えはチェックを入れ返却し間違ったところを直してもらいます。
- (3)会話練習では実際の会話能力を身につけるために学生同士の「ロールプレイ」を実施します。二人でペアを組み自然に言えるように練習します。
- (4)第16回・29回目の授業では映像を使って朝鮮半島の文化と歴史に触れます
- (5)第15回と第30回では「振り返り」として確認テストを実施します。

履修上の注意/Notes

この授業は教員による講義のほか、学生同士のグループワークや映像を使った学習なども含んでいるので、授業に積極的に参加する態度が重要です。

情報端末の活用

全員一律での利用は特に予定していません。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：平易な朝鮮語を十分に修得し、その構造を十分に理解している。
- A：平易な朝鮮語を修得し、その構造を理解している。
- B：平易な朝鮮語をおおむね修得し、その構造をおおむね理解している。
- C：平易な朝鮮語について最低限の修得をしており、その構造をある程度理解している。
- D：平易な朝鮮語を修得することができておらず、その構造を理解していない。

成績の評価方法/Grading

確認テスト：50%、小テスト：30%、平常点：20%。16回目の期末試験は実施しません。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	ことばの架け橋：韓国朝鮮語初級テキスト
著者名	生越直樹, 曹喜澈著
出版社	白帝社
出版年	2011
ISBN	4863980515.0
教材費	

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7551	ナンバリング	KB-SPA-131-JEP	科目分野	演習
開講曜日・時限	月,木4	単位数	2	日英区分	日本語
対象学生	L	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	スペイン語Ⅱ				
担当教員（ローマ字表記）	福田 大治				
シラバス用備考	【後期】				

授業題目/Title

スペイン語Ⅱ

授業の概要/Course Overview

スペイン語の初級クラス（前期の「スペイン語Ⅰ」の次の段階）。スペイン語は英語、中国語などに次いで話者数の多い言語であり、その数は少なく見積もっても4億人に及ぶとされている。習得した者にはそれだけの世界が広がるということ。ヨーロッパ、南北アメリカ大陸に興味を持つ学生の受講を歓迎する。

キーワード/Keyword(s)

スペイン語、スペイン、スペイン語圏アメリカ（いわゆるラテンアメリカ・カリブ諸国、近年ではアメリカ合衆国も含む）、比較表現、過去表現、再帰動詞。

到達目標/Learning Objectives

1. 外国語の初修により、英語とは異なる言語の知識を身に付ける。
2. 英語圏ではない地域の多様な文化を知ることにより、世界を俯瞰的に理解する。
3. グローバル化が進む地域や職域の人々との協働を可能にするコミュニケーション力を身に付ける。

ディプロマ・ポリシー：①世界の俯瞰的理解、③課題解決能力・コミュニケーション力

授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回：シラバスによるガイダンスと前学期の復習（第1課～第3課）

第2回：前学期の復習（第4課～第5課）

第3回：所有詞の使い方（前置形と後置形）

第4回：指示形容詞と指示代名詞

第5回：主語になる人称代名詞

第6回：比較表現（比較級）

第7回：比較表現（最上級）

第8回：不規則な比較語を使った表現

第9回：過去表現1（現在完了形）

第10回：現在完了形を使った日常表現

第11回：過去表現2（点過去）

第12回：点過去を使った日常表現

第13回：過去表現3（線過去）

第14回：線過去を使った日常表現

第15回：過去表現における時制一致の法則

第16回：基数（101～1億）

第17回：現在分詞と現在進行形

- 第18回：現在進行形を使った日常表現
- 第19回：hacerを使った天候表現
- 第20回：不定語と否定語
- 第21回：過去分詞を使った受動文（～される）
- 第22回：受動文を使った日常表現
- 第23回：再帰動詞の概念
- 第24回：再帰代名詞と再帰動詞の使い方
- 第25回：再帰動詞を使った日常表現
- 第26回：再帰動詞の派生用法1（相互、強調）
- 第27回：再帰動詞の派生用法2（無人称、受け身）
- 第28回：命令法と関係詞
- 第29回：不定詞を使った日常表現
- 第30回：後学期のまとめ

【授業外学修】

(1)第2回から第29回まで毎回、教科書各課に組み込まれている平易な練習問題や、教員オリジナルの練習問題に取り組んでもらいます。一部は宿題（ミニ・レポート）にもなりますから、辞書を使った予習・復習を行うことが大切です。英語とは辞書の引き方が異なるため、授業内に適宜辞書の使い方を解説します。

(2)ラジオ・テレビ教材、問題集を通じた語学の習得方法、生きたスペイン語に接するための映画・音楽・ニュース媒体等を授業で紹介します。語学の背景であるスペイン語圏の文化にも積極的に触れてください。

【アクティブラーニング】

第2回から第29回まで、毎回「双方向型問題演習」を行います。

履修上の注意/Notes

新しく学ぶ外国語であるからには、毎回の出席が義務付けられる。やむをえず欠席の際には、その回の内容について必ず教科書等で自習しておくこと。また、不明な事項があれば授業内または授業後に質問の上で、次回までに疑問点を残さないこと。

情報端末の活用

全員一律での活用は特に予定していない。

成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：平易なスペイン語を十分に修得し、その構造を十分に理解している。
- A：平易なスペイン語を修得し、その構造を理解している。
- B：平易なスペイン語をおおむね修得し、その構造をおおむね理解している。
- C：平易なスペイン語について最低限の修得をしており、その構造をある程度理解している。
- D：平易なスペイン語を修得することができておらず、その構造を理解していない。

成績の評価方法/Grading

授業内での課題演習（合計50%）と項目ごとの小テスト（合計50%）とを合わせて総合的に評価する。

教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	動く!スペイン語
著者名	福嶋教隆 著

出版社	朝日出版社
出版年	2008
ISBN	4255550239.0
教材費	2600

参考書/Reference Book(s)

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

実践的教育から構成される授業科目

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--